

学校だより 7月号

令和4年6月30日



横浜市立義務教育学校

緑園学園

RYOKUEN COMPULSORY EDUCATION SCHOOL

横浜市泉区緑園五丁目28番地 前期課程 ☎045 (811) 6710 後期課程 ☎045 (811) 6030

「思いをはせる」

後期課程 副校長 田中光弘

毎朝、校長・准校長・副校長で役割分担をしながら子どもの登校を見守っています。4月当初は緊張した面持ちの子どもが多かったのですが、今は学校生活になれてきたのか、それぞれの表情が見られるようになってきました。元気に「おはようございます」と言って横断歩道を渡る子や、手をあげながら渡る子、英語指導助手に「ハロー！」と笑顔で手を振る子。そういった一人ひとりの子どもにそれぞれの表情があり、ほほえましく見守る場面も多くなってきました。6月18日の土曜参観でもそのような姿が多く見られたのではないのでしょうか。また、6月から7月にかけて運動部に所属している9年生の多くは、最後の大会をおかえます。それぞれが全力で、今できる精一杯のパフォーマンスを発揮できることを期待しています。いつもお力添えや応援をくださっている保護者・地域の皆様に、心より感謝申し上げます。

さて、夏休みが近づいてきました。それぞれが自分の課題や目標、日ごろやりたくても時間が足りなくてできなかったことなどに取り組むことと思います。その中でも特に明確な目標をもって夏休みを過ごす学年があります。9学年です。インターネットで調べただけでも、非常に多くの高校が夏休み中に見学会やオープンキャンパスを実施する予定になっています。9年生の中でも目標とする高校が決まっている人もいれば、まだまだこれからという人もいます。そんな中でもできる限り多くの高校の説明を聞いたり、実際に高校まで行ったりすることは大切です。少ない情報の中から一つを決めるのと、多くの情報から選択するのとでは、やはり違いがあると私は思っています。自ら足を運び、どのような高校が自分にあっているかを考え、志望校を決めていく。そんな有意義な夏休みになることを願っています。

話は変わりますが、有名な音楽家であるベートーベンがこんな言葉を残しています。

“Not all people who have made an effort will necessarily succeed; however, all successes have necessarily made an effort.”

英語訳で載せてみました。日本語訳すると「努力したものが必ずしも成功するとは限らない。しかし、成功したものは皆必ず努力している。」という意味です。努力が成果につながらないときもあります。悔しく思うこともあると思います。ですが、何かをやり遂げた後に、うまくいったこと、いかなかったこと、その全てを振り返ったとき、本当の意味で努力の大切さを知るのだと私は思います。義務教育課程からの卒業に向けて9年生は努力を重ねています。自分が卒業するときの姿、卒業した後の姿、そんなことを思い浮かべるひと時を長い夏休みに加えてもらえたらな、と思っています。